

トマトの害虫を物理的防除した時の病害虫の発生と注意点

【1 成果の概要】

- (1) トマトの主な害虫対策として、ハウスの屋根に「紫外線除去フィルム」をハウスのサイドや入口に「防虫網(0.4mm目合い)」を併せて張ると(図1)害虫のハウス内への侵入を抑え、被害軽減に効果があります(図2)。

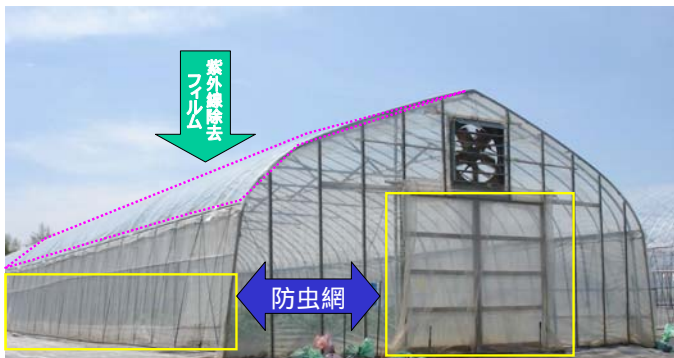


図1 紫外線除去フィルムと防虫網の設置状況

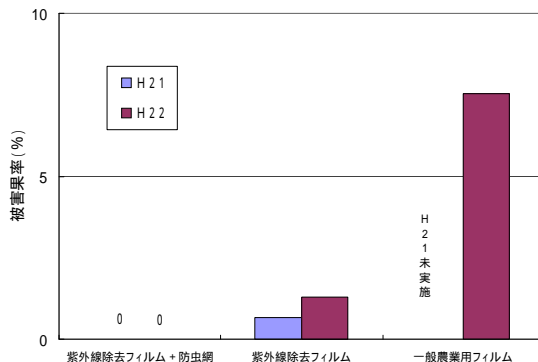


図2 アザミウマ類による被害果の発生状況

- (2) 害虫がハウス内に侵入し、防除をしないでいるとハウス内で増えて被害を及ぼすことがあります(図3)。
- (3) 防虫網を張ることで、ハウス内の最高気温が約5 前後高くなることや、葉かび病の発生が早まったりすることがあります(図4)。

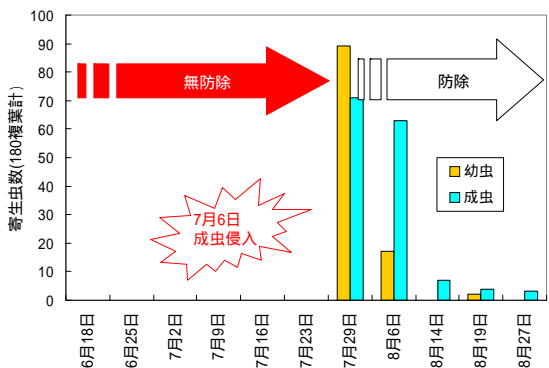


図3 オンシツコナジラミの侵入と増加

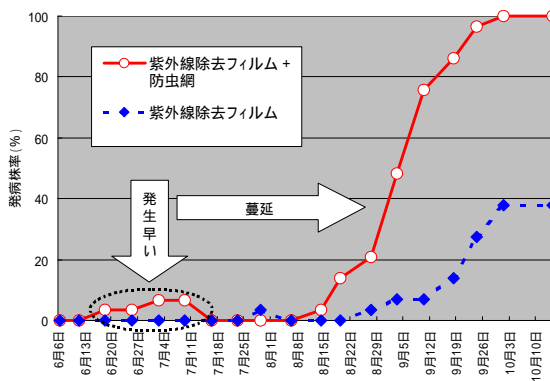


図4 葉かび病の発生推移

【2 留意事項】

- (1) 病害虫の発生状況を随時観察し、状況に応じて防除しましょう。
- (2) 害虫は、苗に付いてハウス内に侵入することや、ハウスへの出入りの時に侵入することがありますので、注意しましょう。
- (3) ハウスの中や周辺の雑草等は、害虫の発生源となりますので、除去しましょう。
- (4) 防虫網を張った場合、高温対策として排気ファンを利用すると、最高気温で2.3~2.4 高くなる程度に抑えることができます。
- (5) 紫外線除去フィルムを使用する場合、マルハナバチの利用は避けましょう。

【3 適応対象】

- ・岩手県内で、トマトの特別栽培等で物理的防除を指導する防除指導者